



かつしかゴト。9

(ボランティアだより)

2020年9月号

ボランティア活動やNPO、地域貢献活動に関する情報満載!!



葛飾区社会福祉協議会
ボランティア・
地域貢献活動センター

CONTENTS

- P1～2 …… いいね!かつしか 「きせん事業所」
- P3 …… 出張相談&専門相談、イベント中止のお知らせ
- P4 …… 介護支援サポーター募集、ボランティア募集
- P5 …… 講座開催報告♪
- P6 …… 令和2年7月豪雨情報
- P7 …… コロナ禍での活動方法、赤い羽根共同募金運動のお知らせ
- P8 …… グループ助成

いいね!
がつか

NPO法人 嬉泉会 「きせん事業所」



や も お か ず お
谷茂岡和夫さん

「いいね!がつか」では、葛飾区内で活動する市民活動団体を紹介しています。

今回で紹介するのは、就労継続支援施設A型事業所を運営されているNPO法人嬉泉会「きせん事業所」です。所長の谷茂岡さんに、活動についてお話を伺いました。

きせん事業所とは

平成23年の秋にNPO法人を設立し、翌年3月に就労継続支援施設A型事業所として事業を開始。今年で9年目を迎えました。

事業所のメインの作業は、肉まんの製造・販売です。「肉まん」を扱うことにした元々の発想は、系列の社会福祉施設がイベントの際に販売して、来場者にとっても好評だったことにあるそうです。

活動内容

作業は利用者一人ひとりの特徴に合わせて振り分けられ、利用者が作業をしやすいように、職員が横についてサポートするなど色々と工夫がされています。

利用者の方は、当初なかなか上手く作業ができなかったのが、徐々にできることが増えてきて、具を包んだりキャベツを決まった大きさに切ったりと、今では職員がおこなっていた作業を任せることもあります。

利用者が急に欠勤した時は、休みの予定だった別の利用者が代わりに勤務するなど、利用者同士で助け合いながら働いています。

定期的な出張販売を5か所でおこなっており、その他にイベント会場での販売があります。出張販売は、利用者の販売・接客訓練を目的としています。

退所後には、一般企業で働く利用者もいます。店頭販売や出張販売を通じて社会との接点を持つ経験は、事業所を退所してからの生活にも活かされる重要なものです。

キーワード

「就労継続支援施設A型事業所」

→障がいや難病により一般企業への就職が困難な方が、雇用契約を結んでサポートを受けながら働くことのできる所です。

《作業内容》

- ◇肉まん製造
- ◇店頭販売
- ◇箱詰作業
- ◇店内清掃
- ◇出張販売
- ◇商品発送など



肉まん製造の様子(作業場)

今後の展望

コロナウイルスの影響でイベントの中止が相次ぎ、事業所の運営はとても大変です。滞りなく運営を継続することが目標であり、わたしの「使命」でもあります。

すぐには難しいですが、ゆくゆくは事業所を増やすことができたかと考えています。そして、多くの障がいや難病を抱えている人の支援ができればと思います。

肉まん以外の商品の開発・販売も考えています。

取材後記

谷茂岡さんは、「信頼関係」を築くことをとても大切にされており、利用者への支援でも意識しているそうです。

コロナウイルスの影響を心配したお客さんが、事業所に肉まんを買いに来てくれるのも、お客さんとの「信頼関係」があるからなのだと思います。

今回の取材により、きせんの肉まんの美味しさの裏には、職員の方がたの継続的な支援と、利用者がかけて培った確かな技術があることが分かりました。

(取材: 太田/亀川)

●団体情報●

NPO法人 嬉泉会 「きせん事業所」

住所 葛飾区東金町1-35-10

電話番号 03-3826-5123

ホームページ <http://kisenjigyosyo.com/>





NPOや地域貢献活動についてのご相談は

出張相談

皆様のお住まいの地域にNPOや地域貢献活動に関する出張相談に伺います。

下記の場所と日程で午後2時から4時まで開催します。

<地域別開催日>

- ◆ 9月16日(水): 堀切地区センター
- ◆ 10月21日(水): 金町地区センター
- ◆ 11月18日(水): 新小岩地区センター
- ◆ 12月16日(水): 亀有地区センター

専門相談

専門相談員(弁護士・社会保険労務士・税理士・司法書士)による、相談を受け付けています。

ボランティア活動やNPO、地域貢献活動に関するお困り事の解決にお役立てください。

申込方法

- ◆ 電話・FAX・メール・QRコードでお申込みください。
- 後日、日程調整いたします。

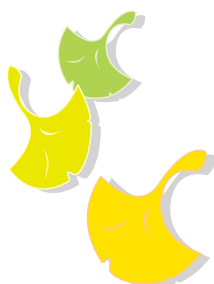


イベント中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から検討した結果、参加される皆さまや来場される皆さまの健康面、安全面を考慮し、下記のイベントにつきましては、やむを得ず中止とさせていただきます。

参加を希望されていた皆さまには大変申し訳ございませんがご了承くださいますよう、お願いいたします。

イベント名	コラボかつしかまつり	かつしかボランティアまつり
開催予定日	例年10月下旬	11月15日(日)
会場	立石地区センター別館 ・勤労福祉会館	ウェルピアかつしか



来年度の開催に向け、
12月頃～実行委員会を
開催します。

1月頃、ボランティア活動団体の
パネル展開催を予定しています。

介護支援サポーターとして活動しませんか？

介護支援サポーターは、特別養護老人ホームなどの施設でお話相手・お掃除・洗濯物たたみなど様々な活動を行います。活動時間に応じて得たポイントは、年度末に換金または寄付をすることができます。

普段の家事・趣味や特技を生かし、サポーターとして活動していただける方を募集しています。

ぜひ一度、説明会へご参加ください！

★受入施設として登録していただける施設も募集しています。

【制度説明会・基礎研修会】

制度の説明・活動上の注意点・登録手続きなどを行います。

サポーター登録を希望される方は必ずご参加ください。

◆日時・場所

10月13日(火) 午後1時30分～4時

堀切地区センター(堀切3-8-5)

◆対象

区内在住・満65歳以上・介護保険サービスを利用していない方

◆持ち物

介護保険証・筆記用具

◆定員

20名(先着順・定員になり次第締め切ります。)

◆申込方法

電話かFAXでお申込みください。

◆申込み・問合せ

葛飾区社会福祉協議会 小地域福祉活動推進係

電話:5698-2435 FAX:5698-2513

洗濯物たたみの活動中です。

「活動に行くことが日課になっています。一緒に活動する皆さんと話すことも楽しみの1つです。」とお話してくださいました。



趣味・特技を生かしたサポーターさん！

趣味・特技を生かした活動をしているサポーターさんもいます。今回はサポーターさんから「シールアート」を教えてくださいました。



高 = 高齢者

障 = 障がい者

社 = 葛飾区社会福祉協議会

児 = 児童

他 = その他

夢プラス事業 ボランティア募集! 他

～若者の社会参加応援のボランティア～

- ◆内容 ①組織運営や外部との交渉
(活動への参加、行政機関・協力団体・企業回りなど)
- ②SST(ソーシャルスキルトレーニング)講座の担当
- ③当事者会のコーディネート

◆日時 要相談。

◆問合せ NPO法人みらくる かつしか夢プラス事業 別所【べっしょ】
※詳細は、HP(<http://www.yume-plus.com/>)内の
「お問い合わせフォーム」からお問い合わせください。

きね川福祉作業所 ボランティア募集! 障

知的障がい者の通所就労支援施設でのボランティア

- ◆内容 ①日常的な作業補助(軽作業・公園清掃)
- ②クラブ活動(スポーツ・音楽・創作)の補助
- ③行事の補助

◆時間 (月～金)午前9時～午後3時30分

※曜日・日時は、要相談

◆問合せ きね川福祉作業所(東四つ木3-8-10)

大堀・早川【おおほり・はやかわ】

TEL:03-3694-1577

音訳ボランティア募集 障

視覚障がいのある方の郵送物の音訳、代筆をしてくれるボランティアを募集しています。音訳経験のある方、視覚障がい者のサポートをしたことある方大歓迎です。ボランティア希望者は、ボランティア・地域貢献活動センターで「ボランティア登録」をお願いします。

◆活動内容 自宅に届いた郵送物の音訳、代筆など

◆問合せ ボランティア・地域貢献活動センター

かつしかゴト。 発送作業ボランティア募集 社

発送作業のお手伝い

◆内容 チラシ折り込みや封筒詰めなど

◆日程 11月11日(水)

◆時間 午前10時～正午

◆場所 ウェルピアかつしか1階 活動室

◆問合せ ボランティア・地域貢献活動センター

ハンディキャブ 運転ボランティア募集 社

リフト付きワゴン車「ハンディキャブ」の運転ボランティア

◆内容 車いすを利用している高齢者や障がいのある方の外出支援【運転とリフト操作】

◆対象 (2種免許取得者以外は講習あり)

①普通自動車運転免許を所持している概ね65歳までの方

②福祉に理解・熱意のある方

◆問合せ ボランティア・地域貢献活動センター

ボランティア・NPO入門講座の開催報告!

8月8日(土)にボランティア・NPO入門講座を開催しました。

コロナウイルス感染拡大防止のため、参加人数を制限して、講師はオンラインでつなげるという方法で実施しました。参加者からNPO法人を設立した際に必要になる手続きについて質問があり、オンライン上で講師が返答する、コロナ禍での新しい講座の形なのだと思います。現在も様々な場面でオンラインの活用が求められています。私達も今回のようにいろいろな方法で講座を開催したり、情報発信していきたいと思います。

まだコロナウイルスの影響で、ボランティア活動などが以前と同じようにはできない状況ですが、今だからこそ、できること、やらなくてはならないことをみなさんと一緒に考えながら、ボランティア・NPO活動を支援していきたいと思います。



中・高生のための ボランティアスクール (前半部)を開催しました。

コロナ禍の中、6名の中・高生が参加しました。事前学習では、ソーシャルディスタンスを保ち、一人一台車いすを使用して、車いすの介助方法の学習と自走体験を実施しました。例年より短い夏休みの中で、貴重な体験ができたと思います。このあとも秋に環境ボランティア活動の募集をしますので、引き続きボランティア活動に関わってほしいと思います。



ボランティア学 (前期)の開催報告

7月25日(土)と8月1日(土)の二日間にわたり、開催しました。

この講座は「ボランティア活動に興味がある。」「これから活動を始めたい。」「とお考えの方々を対象に開催しています。今までは主に「高齢者」や「障がい者」に関する内容を取り上げてきましたが、今回は「子どもたちを支えるボランティア活動について学ぶ」をテーマに、子どもをとりまく課題や、子どもの居場所、障がいのある子どもたちなどについて学びました。

実際に子どもを支える活動をしているNPOやボランティアグループの方から、具体的な事例の話を聞くことができ、参加された方からは、大変勉強になったとの声が数多く聞かれました。12月にも同じ内容で開催する予定です。





＊講座のお問い合わせ＊ ボランティア・地域貢献活動センター

☎5698-2511 FAX 5698-2513 「講座名」、住所、氏名、年齢、電話番号を記入

令和2年7月豪雨災害について

7月3日からの引き続く大雨で、九州をはじめ日本各地で甚大な被害が発生しました。各地で災害ボランティアセンターが立ち上がり、ボランティアの人たちによる被災地での支援が始まっています。災害ボランティア活動は、個人個人の自由な意思に基づいた活動であることが原則です。しかし、新型コロナウイルス感染が懸念されている現在の状況下では、災害ボランティア活動を進めることで、感染を広げてしまう恐れがあります。被災地の多くは、人口に占める高齢者の割合も高く、感染の広がりや被災地の住民の命を脅かす事態を生じさせかねません。

こうしたことから、被災地では、ボランティアの募集は原則県内のみとしていて、県外からは受け入れていないのが現状です。被災された県では、県内の団体・個人ボランティアをはじめ、専門的な技術をもつ県内のNPOや災害支援団体によるボランティア活動・支援活動が展開されています。



熊本県球磨村方面

葛飾区でも水害が発生すると、被害は甚大になると想定されます。コロナ禍における現状では、都外から支援が来るのは難しいと思われます。例年水害が多発している状況を見れば、葛飾区もいつ発災してもおかしくありません。

災害時には「顔の見える関係」そして、「連携」がとても大事だと言われています。

そのような関係・連携を平時から行い、備えることで発災後の初動が早くなります。

もしも葛飾区で発災すれば区内の個人・団体の皆様の協力なくして、支援・復旧活動はできません。ボランティア・地域貢献活動センターとしても、連携構築、災害ボランティア講座、災害ボランティアセンターの設置・運営訓練などを開催して、

区内の個人・団体の知識向上やスキルアップに取り組んでいきます。個人や団体の皆様におかれましては、「平時から備える」という意識を持ち、普段からの活動に取り組んでいただくとともに、いざという時には復旧・復興支援の中心となって活動いただけますようお願い申し上げます。

なお、中央共同募金会では、被災県内のNPO・ボランティア団体自身によって行われる被災者支援活動を応援するため、「令和2年7月3日からの大雨による災害にともなう災害ボランティア・NPO活動サポート募金(災害ボラサポ・令和2年7月豪雨)」の寄付受付を開始しています。

被災地で「支える人を支える」活動支援金へのご理解とご協力をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

●銀行振込によるご寄付の場合(災害ボランティア・NPO活動サポート募金)

金融機関：三井住友銀行

支店名：東京公務部

口座番号：(普通) 0162585

口座名義：社会福祉法人中央共同募金会

※その他、被災者に届く義援金の寄付については「令和2年7月豪雨災害 義援金」で [検索](#)

※災害ボランティアセンターとは…

被災地でボランティア活動を行うための拠点となる場所です。災害時には、多くのボランティアが災害救援活動に関わります。そのボランティアの人たちにスムーズに活動を行ってもらえるよう、関係機関や団体との連絡調整や、支援を求める人にボランティアを紹介・派遣するなど、ボランティアと被災者の橋渡しを行う場所になります。



熊本県人吉市方面

福祉活動・ボランティア活動における 新型コロナウイルス感染症拡大防止の留意点

活動を始める前に検討・準備すること

① 感染の危険箇所、場面等を確認する

福祉活動やボランティア活動ごとに、接触回数が多い箇所や備品、場面等を洗い出し、活動に際して、重点的に消毒する等の対策を講じることが必要です。特に他者と共有する備品や複数の手が触れる場所を特定します。

② 福祉活動の方法・プログラム等を見直す

- 活動日に使用する消毒液、ハンドソープ、ペーパータオル、体温計、マスク、手袋、ゴミ袋等の備品・消耗品を準備します。
- 感染及び感染拡大リスクを低減するため、活動の見学や視察等の受け入れは避け、電話やWEB会議等に対応します。



③ 利用者の参加ルールの設定と周知

- 利用者に発熱(37.5℃以上、もしくは平熱より1℃以上高い)、風邪症状がある場合は参加を見合わせ自宅療養してもらいます。発熱、風邪症状がある家族がいる場合も、同様の取扱いとします。
- 感染者が確認された場合、迅速に濃厚接触者を特定するため、国がリリースした接触確認アプリを積極的に活用することを呼びかけます。

④ 担い手の参加ルールの設定

- 利用者同様、担い手も発熱、風邪症状がある場合に活動への参加を見合わせることを、咳エチケットや手指消毒等の基本的感染症予防対策の徹底すること等をルール化します。

⑤ 発熱、風邪症状がある利用者が当日参加した場合

- 発熱、風邪症状がある利用者が当日参加した場合の対応方法や手順については、事前に取り決めておきます。

活動実施日における取組

① 活動実施前の準備

- 入口等に手指消毒液を配置します。
- ドアノブやテーブル、椅子の背もたれ等、人が多く触れる箇所を重点的に消毒します。

② 活動中の取組

- 受付では、参加者の体調確認を行います。37.5℃以上の発熱(または平熱比1℃超過)、息苦しさ、強いだるさ咳・咽頭痛等の症状がないか確認します。
- 発症者が出たときのため、参加者名簿を作成します。
- 活動中は、1時間に2回以上の換気(2方向の窓を1回、数分程度、全開にする等)を行います。風が少ない日には、ドアを開けて外側に向けて扇風機を置くと換気がしやすくなります。
- 熱中症防止のため利用者・担い手双方の水分補給に留意します。マスクをしているとのどの渇きが分かりにくいので、適宜声を掛け、給水を促します。



③ 活動終了後

- 会場を清掃し、消毒します。

10月1日から 赤い羽根共同募金運動が始まります



集まった募金は、区内の福祉施設などで活用されています。

令和元年度 募金実績(葛飾区) 13,692,133円

問合せ

広報・会員係 **5698-2411**

募金はすぐに始められる
ボランティア活動です



ボランティアグループの皆様へ 活動育成のための助成金をご利用ください!

ボランティア活動のさらなる発展のための助成金申請ができます。新規立ち上げグループや新規事業を開始するグループなど、ぜひご利用ください。

申請期間は令和3年1月29日(金)までです。

◆対象となる団体(法人格を持たない任意団体)

- ①区内で活動しているメンバー(会員)が原則5名以上の団体。(ただし、メンバーが5名以下の場合も活動実績などを踏まえ、対象の可否を判断します。)
- ②センターの事業に参加・協力できること。
- ③センターに団体登録をしていること。
- ④会員の3分の2以上が区内在住。(5名以下の場合は、2分の1以上)
- ⑤前年度助成金利用団体は報告が完了していること。

	A区分	B区分 (設立3年未満)
対 象 事 業	①団体の学習会や研修活動 ②器具・機材の整備(購入) ③新規活動等の経費 ④広報紙・記念誌の発行 など	消耗品費 通信運搬費 会場使用料 など
助成金額(上限)	7万円	5千円

申請書類はセンター窓口でお渡ししています。
ホームページからもダウンロードできます。
詳細は申請要領をご覧ください。

ホームページとメールマガジンからボランティア情報を発信

ボランティア情報や講座、研修会、助成金など情報が満載です!ぜひ、ご利用ください。

ホームページ

メールマガジンは、右のQRコードから登録してください。



ホームページ
QR



メルマガ
QR



お問合せ/アクセス

葛飾区社会福祉協議会

ボランティア・地域貢献活動センター

- 住 所: 〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-34-1
ウェルピアかつしか1階
- 電話番号: **03-5698-2511**
- F A X: **03-5698-2513**
- ホームページ: <http://vc.katsushika-shakyo.com/>
- Eメール: vc@katsushika-shakyo.com
- 窓口時間: 平日・第1・第3土曜日 午前8時30分～午後5時
(祝日・年末年始を除く)

